

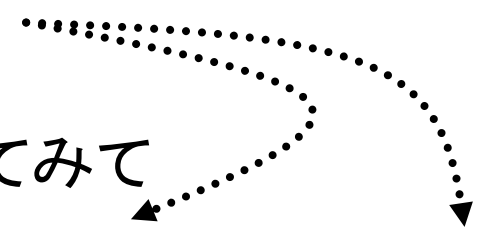
図書館情報メディア研究科

中野倫靖

情報メディア開発 平賀研 D2

nakano@slis.tsukuba.ac.jp

アジェンダ

- 自己紹介
 - 学歴
 - これまでの研究内容
 - 博士後期課程の毎日
 - 博士後期課程になってみて
 - 研究とは, 研究者とは
 - 図書館情報学とは, 図書館情報メディア研究科とは
 - 今後の予定
 - 理想の図情とその院生達、と中野の目標
- 

自己紹介

□ 学歴

- 長岡工業高等専門学校 電子制御工学科
- 図書館情報大学
- 筑波大学 図書館情報メディア研究科 博士前期課程
- 筑波大学 図書館情報メディア研究科 博士後期課程

□ 過去の研究題目

- **画像処理**(卒研、長岡高専)
- **音楽情報処理**(国情)
 - 楽器音データベースにおける楽器音の特徴分析 (卒研)
 - 口(くち)ドラム認識に基づくドラムパターン検索に関する研究 (修論)
 - 歌声(単独歌唱)の歌唱力評価 (現在)

博士後期課程(ドクター)の毎日



授業

研究関係

- 研究がメイン(何のプロになるのか考える！)

▶ 博士後期課程になってみて: 研究とは, 研究者とは

□ 研究がすごく好きな理由

世界中で誰も知らないことを
自分が明らかに出来る

つまり
→ クリエイター

この世の謎を解決
する能力を伸ばせる

〇〇なのはなぜ? □□はどうやる?

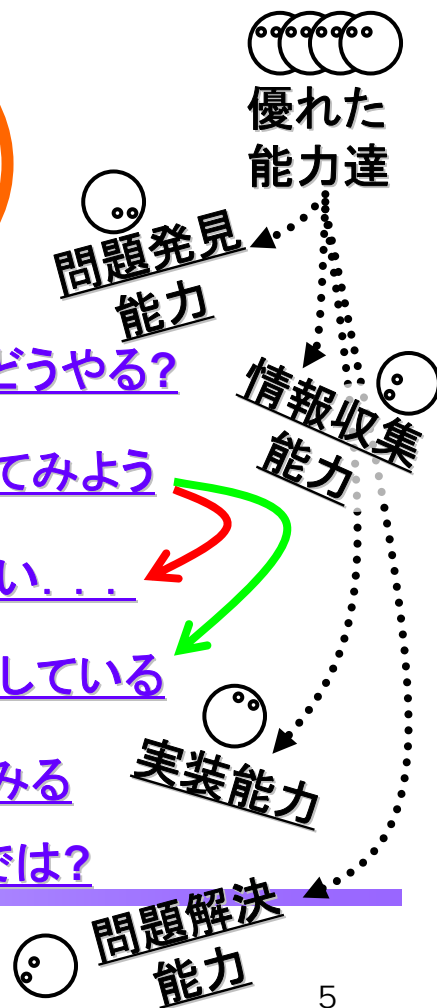
じゃあ, とりあえず調べてみよう

誰もやってる人がいない...

Aさんがある手法を提案している

じゃあ試しに作ってみる

こうやったら出来るのでは?



博士後期課程(ドクター)の毎日



授業

研究関係

□ 研究がメイン

- 自分で自分を高める努力・能力達を伸ばす！
 - 学会、シンポジウム、他研究室・他大学のゼミへの積極的な参加

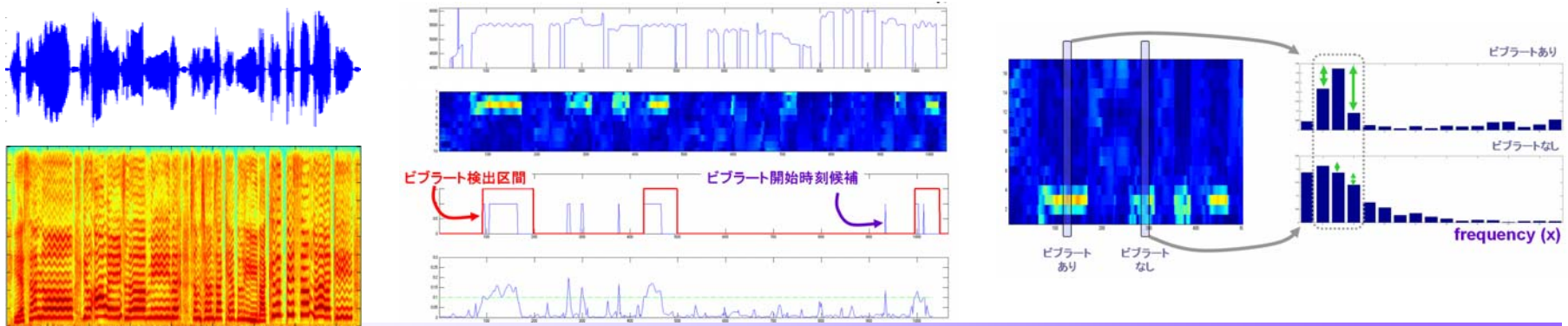
▶ 博士後期課程になってみて: 図書館情報学とは

何でもあり(学際的)

□ 具体的には...

- 今の世界に必要とされている技術や考え方を
全て考えることの出来る学問

例えば ⇨ 僕の研究は, **音楽情報処理** (音楽音響信号処理)



▶ 博士後期課程になってみて: 図書館情報学とは

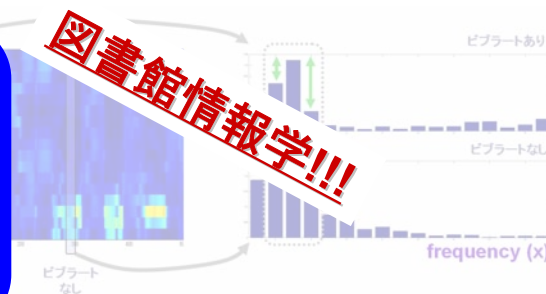
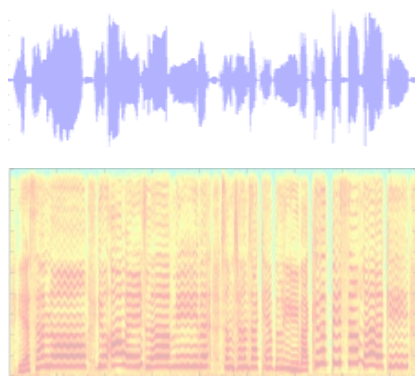
何でもあり(学際的)

□ 具体的には...

- 今の世界に必要とされている技術や考え方を
全て考えることの出来る学問

例えば ⇨ 僕の研究は, **音楽情報処理** (音楽音響信号処理)

- 
- 自動的にメタデータを生成する
 - 効率的な検索手法を考える
 - 優れたインタフェースを構築する



▶ 博士後期課程になってみて：図書館情報メディア研究科とは

(一見)様々な分野の、強力な先生方
そんな先生方に師事する優秀な学生たち で構成される

良いところ：

- 様々な観点で物事を考えることができる
- 院生室システム

皆が言う弱点：

- 専門が違いすぎて、他研究室の研究が理解できない
- いわゆる「研究室」という空間が(ほとんど)ない

▶ 博士後期課程になってみて：図書館情報メディア研究科とは

(一見)様々な分野の、強力な先生方
そんな先生方に師事する優秀な学生たち で構成される

良いところ：

- 様々な観点で物事を考えることができる
- 院生室システム

目指したいもの・目指せるもの：

- 専門分野を
~~狭く深く~~、~~広く浅く~~ ⇒ 広く(浅く)ところどころ深く

博士後期課程(ドクター)の毎日



授業

研究関係

□ 研究がメイン

- 自分で自分を高める努力・能力達を伸ばす！(深く)
 - 学会・シンポジウム・他研究室、他大学のゼミへの積極的な参加
- 後輩指導・他分野との鋭い議論(広く、時々深く)
 - 図情の特性:「一見」違う分野の研究に対しても議論・発見・吸収

今後の計画

M1研究発表会(既に過去2回開催)

□ M1の研究促進

- M1の時期, 授業が大変で頭が回らない
- 着手(中間)発表が遅い...ような

□ 縦のつながりをもっと

- D(後期), M(前期), B(学部)の境界を埋める
- 研究サークルなど

D1研究発表会

どんなドクターがいるか分かれば、色々相談できる!

博士後期課程(ドクター)の毎日



授業

研究関係

□ 研究がメイン

- 自分で自分を高める努力・能力達を伸ばす！(深く)
 - 学会・シンポジウム・他研究室、他大学のゼミへの積極的な参加
- 後輩指導・他分野との鋭い議論(広く、時々深く)
 - 図情の特性:「一見」違う分野の研究に対しても議論・発見・吸収
- 柔軟性・人間性(素人発想 玄人実行のために！)
 - 自分の研究に対するプライド・自信はすごく大事
 - でも、違う考え方の人の意見を取り入れる柔軟性もすごく大事
 - 違うから、って無視してたら成長できない
 - 自分の研究に置き換えて考えるのは大事！
 - 違う分野の人との議論のためには、人間性もすごく大事

最後に(期待 = 目標)

これまででは

- 他の分野の技術・インタフェースを利用することが多い...のでは?

(特に図書館情報の部分で)

例えば, 「音楽情報処理に音声情報処理や画像処理の手法を使う」
「レファレンス事例検索に、情報検索の既存技術を使う」

最後に(期待 = 目標)

これまでは

- 他の分野の技術・インタフェースを利用することが多い...のでは?
(特に図書館情報の部分で)
例えば, 「音楽情報処理に音声情報処理や画像処理の手法を使う」
「レファレンス事例検索に、情報検索の既存技術を使う」

これからは

- 図書館情報学ならでは、という新しい技術・考え方・インタフェースが
どんどん出てくることを期待! & 目指します!

- 人との関わりを重視する・したい
- 隣の本(情報との意外な出会い)
- 情報遭遇

- レファレンス事例の検索手法
- (図書館)評価手法
- 出会いを重視した情報検索
そして、音楽情報処理

図書館情報メディア研究科

いつでもメールをください!

中野倫靖

情報メディア開発 平賀研 D2

nakano@slis.tsukuba.ac.jp